

市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	健康福祉部（健康まちづくり戦略室）
テーマ	新しい健康まちづくりの方向性
日時	令和4年11月12日（土）午前10時～11時30分
場所	国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
出席者	永見市長、くにたち子どもの夢・未来事業団細田幼児教育推進プロジェクトマネージャー、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、橋本健康まちづくり戦略室長、高木係長、村井主任
参加者数	23名
主な意見	<p>〈つながり、集えるまちと幼児教育〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうがいのある方や高齢者の方と子どもの交流の場が少ないように感じている。遊びの中で、お互いを知ることができるような場面が増えると良い。 ・ご高齢の方の生きる上でのノウハウを次世代に引き継げる場がないことが残念である。 <p>〈多世代交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代交流の場を作りたいがどのように盛り上げていけばよいか。 ・コロナでつながりが薄れてしまった部分が多いが、自然な形で取り戻していきたい。 <p>〈孤独・孤立の防止〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で加速した孤独・孤立、今できることをやるしかない、行ける場所を増やしていくこと。 <p>〈公園での体操〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で屋外での体操が盛り上がっている。年齢も問わず、人数制限もない、そのような気軽に行ける場を増やしていくべき。 <p>〈ウォークアブルなまち、自転車での移動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立市内は自転車でも動きやすいが、自転車道の整備が課題であると思う。 <p>〈スポーツの場面〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士の関わりそのものがアフォーダンスだと感じた。 <p>〈矢川プラス〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用できない人にも情報発信していってもらうことを期待したい。 <p>〈年代別ではない施策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は介護予防、子どもは保育、という分断ではない場所づくりを考えて欲しい。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・細田幼児教育推進プロジェクトマネージャーより、環境心理学の視点から「健康まちづくり」について情報提供や問いかけをしていただき、充実した内容となった。参加者から実例の提示があり分かりやすかったとの声をいただいた。 ・多世代交流できる場所が少ない、または今ある場所が活用されていないという課題が分かった。

<当日の様子>

